

第299回撮影例会報告

担当幹事 大星幹事

日 時 平成29年12月2日(土) 午前7時30分～午後6時40分 天候 晴れ

撮影場所 伊豆・大瀬崎、黄金崎、大田子海岸 撮影対象 海岸の風景 参加12名

当日はシベリア高気圧の到来で、京浜地区の早朝は5度前後まで冷え込んだが、快晴の朝を迎えた。定刻の7時30分には男子10名、女子2名の方々が元気に集合され、太田さんと阿部さんの車に分乗して出発した。

途中渋滞もなく10時30分に最初の撮影地・大瀬崎海岸に到着した。期待の富士山が雲隠れしていたため多くの方は南側のビヤクシンの原生林を中心に撮影された。

樹齢1500年とも伝えられるご神木や高さ20メートルを越す大樹、大蛇を思わせるような奇怪な樹形など、魅力的な被写体であった。予定の10時40分に撮影を終えて次の撮影地・黄金崎海岸へ向かった。

途中高台の見晴らし台から、切り立った山腹の紅葉に航跡を曳く汽船を添景に撮影した。

山海の珍味を頂いた後、2時20分夕陽の景勝地・黄金崎海岸に到着。馬頭の形をした岩肌が夕日を浴びて黄金色に輝くことから、この名が付いたと言われる。

展望台や険しい山道沿いから、風化著しい岩肌や岩礁、長年の強風に耐え険しい表情を見せる松林などに惹かれた。3時30分に撮影を終えて次の撮影地、大田子海岸へ向かう。

大田子海岸は春分と秋分の前後に男島と女島の間には夕陽が沈む美しさと、奇岩メガネツォ(別名ゴジラ岩とも)越しの夕陽が有名でカメラマンの聖地。この日は美しい夕焼けに恵まれたが、夕陽が遥か南寄りに落ちたため名作を撮ることが出来なかった。5時に無事撮影を終えた。

帰る途中フルーツセンターで旅費の精算を終えた。6時40分に出発し阿部さんの車は7時40分に二宮駅に到着して散会した。太田さんの車は大船駅に直行されて解散された。